

# 感染症発生状況

令和元年 11 月 22 日

幼稚園・保育園・認可外保育施設の長 様

盛岡市子ども未来部子育てあんしん課長

令和元年11月11日（月）～11月15日（金）の定点における発生状況をお知らせします。

定点23園の対象園児数（定員）は2,635名です。

この週の延べ欠席者数 【園児】388名 【職員】0名

1日あたりの延べ欠席者数 【園児】77名（前々週の1日あたりの延べ欠席者数69名）

欠席理由の主なもの（下記の人数は延べ人数です。）

【園児】症状：**熱（206名）**、咳・鼻水（55名）、下痢・腹痛（33名）、嘔気・嘔吐（15名）

疾病別：**インフルエンザ（24名）**、気管支炎・肺炎（4名）、溶連菌感染症（7名）、胃腸炎（2名）

【職員】なし

**インフルエンザ、RSウイルス感染症、溶連菌感染症、マイコプラズマ肺炎などがわずかながらにあります。胃腸炎に注意しましょう（時期的にキャンピロバクター・病原性大腸菌感染）。**

## 【症状別の発生状況】

**インフルエンザ** 厨川、河北地域で増加しました。

気管支炎・肺炎 河北地域で減少。玉山、厨川、河南、都南地域で増加しました。

溶連菌感染症 盛南地域で減少。厨川、河北、都南地域で増加しました。

胃腸炎 河北、盛南地域で減少。厨川、都南地域で増加しました。

## 【県の状況（11/4～11/10）】

感染性胃腸炎は、盛岡市で多くなっています。例年、年末にかけて大きく流行するので、今後さらに感染予防対策が重要となります。予防には、せっけん流水による手洗い、患者の吐物や便の塩素系薬剤を用いた適切な処理が重要です。

インフルエンザは、二戸地区で多くなっています。今シーズンこれまでに報告された患者の年齢層別では、9歳以下が半数以上を占めています。ワクチンの効果が現れるには2週間程度かかるので、早めの接種が勧められます。予防には帰宅後等の手洗い、症状がある場合はマスクをするなどして周囲への感染を防ぐことが重要です。

伝染性紅斑（リンゴ病）は、一関地区で報告の多い状況が続いており、この週は今年一番の報告数となりました。妊婦が感染するとまれに胎児に影響することがあるので注意が必要です。

台風被災地のがれき等の撤去には、感染症予防のため、丈夫な手袋、厚底靴、マスクの着用が重要です。

【盛岡市医師会（感染症対策委員会）】

質問・相談先 盛岡市医師会幼稚園保育園部会

電話 625-5311 ファックス 651-9822

【担当 盛岡市役所子育てあんしん課育成係 電話 613-8347（ダイヤルイン）ファックス 652-3424】